

## 第2回 令和2年度幌延町各会計決算審査特別委員会会議録

令和3年9月16日（木曜日）

### ○議事日程

#### 開会宣告及び開議宣告

- 第1 認定第1号 令和2年度幌延町一般会計歳入歳出決算の認定について  
第2 認定第2号 令和2年度幌延町立診療所特別会計歳入歳出決算の認定について  
第3 認定第3号 令和2年度幌延町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
第4 認定第4号 令和2年度幌延町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  
第5 認定第5号 令和2年度幌延町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について  
第6 認定第6号 令和2年度幌延町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
第7 認定第7号 令和2年度幌延町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について  
閉会宣告

### ○出席委員（7名）

委員長	5番	無量谷	隆
副委員長	1番	高橋	秀明
委員	2番	佐藤	忠志
委員	3番	斎賀	弘孝
委員	4番	植村	敦
委員	7番	西澤	裕之
委員	8番	高橋	秀之

### ○出席説明員

町長	野々村	仁
代表監査委員	成田	義弘
副町長	岩川	実樹
教育長	木澤	瑞浩
農業委員会長	小島	和博

総務財政課長	藤井	和之	住民生活課長	古草	勝
保健福祉課長	村上	貴紀	企画政策課長	角山	隆一
産業振興課長	山本	基継	建設管理課長	島田	幸司
教育次長	伊藤	一男	選挙管理委員会事務局長	(藤井和之)	
農業委員会事務局長	(山本基継)				

総務グループ主幹	伊藤 崇	財政グループ主幹	渡邊 智民
企画政策グループ主幹	山下 智昭		

問寒別出張所長	三田地 和美	税務係長	村元 夏輝
戸籍年金係長	(村元 夏輝)	広報住民係長	植村 美佐子
企画調整係長	梶 淳	地域振興係長	(梶 淳)

○議会事務局出席者

事務局長	早坂 敦
主 事	満保 希来

無量谷委員長

ただいまの出席委員は7名です。

定足数に達しておりますので、これより第2回令和2年度幌延町各会計決算審査特別委員会を開会します。

ただちに、本日の会議を開きます。

認定第1号「令和2年度 幌延町一般会計歳入歳出決算の認定について」、  
認定第2号「令和2年度 幌延町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」、  
認定第3号「令和2年度 幌延町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について」、

認定第4号「令和2年度 幌延町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」、  
認定第5号「令和2年度 幌延町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について」、  
認定第6号「令和2年度 幌延町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」、  
認定第7号「令和2年度 幌延町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について」  
の7件の審査を行います。

お諮りします。

各会計の審査順序は、配付されている議事日程のとおりとし、提案理由の説明は既に本会議で行っておりますので、これを省略したいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、審査順序は配付されている議事日程のとおりとし、提案理由の説明は、省略します。

委員の皆さんに申し上げます。

質疑は、簡潔明瞭にお願いします。また、1回の質疑は3点程度とし、ページを宣告してお願いします。

日程第1 認定第1号「令和2年度 幌延町一般会計歳入歳出決算の認定について」の件を議題とします。

お諮りします。

審査は、歳出は款別、歳入は一括、財産に関する調書は一括、総括の順で行いたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

これより、歳出1款 議会費の質疑を行います。

(「ありません」の声あり)

これにて、1款 議会費の質疑を終わります。

これより、2款 総務費の質疑を行います。

ありませんか。

3番 斎賀委員

81ページ、自治振興費になります。

自治振興費の集落支援活動運営事業ですね。当初予算では、この中にですね、委託料、地域おこし協力隊募集採用選考サポート業務ということで171万6千円計上してたと思うんですけども、これはどういうふうになったのかですね、それをお尋ねしたいと思いますが1点。

それと使用料、下から2行目に使用料があります、説明の中に70万920円。これはどこの使用料を70万かかるのか教えていただきたいと思います。

それと次のページに続けて一般備品あります。347万8,843円。一般備品、これはどういうものが一般備品に含まれてるのか、お知らせ願います。

以上3つです。

山下企画政策グループ主幹

お答えさせていただきます。

集落支援員運営事業の委託料なんですけれども、こちら当初予算のほう計上しておりましたが、協力隊員を採用するに当たっての委託という経費だったんですけれども、実際その委託をして採用するという実績が令和2年度なかったもので、こちらのほうの執行はないというものでございます。

そして、使用料に関しまして70万1千円でございますが、こちらのほうは、問寒別の協力隊事務所の事務用品ということで、パソコンですとか、事務機器、こういったものをリースしておりますので、こちらの使用料ということになります。

そして一般備品に関しましては、問寒別の協力隊の活動用車両。こちらのほうの車庫を整備しておりますので、そちらの車庫として236万円。

そして、問寒別の協力隊事務所にパソコンですとか、オンラインの映像機器などを整備しております、こちらが111万9千円となっております。

3番 斎賀委員

わかりました。

それでちょっとお伺いしますけども、これ今、尋ねたのは、このやつは、決算説明資料の48ページにあります、集落支援員運営事業費の中に細かく数字が載っていますが、それらの数字を足して、ここに使用料が載っているというふうに判断するのかなと思います。

つまり、使用料がコピー代だとか、機械借りてるから、複写機借りてるからということだったんですけども、決算説明資料の中には、借上料、事務所複合機で140万7千円。それから、使用料事務用品で70万1千円。一般備品111万9千円とありますが、これ事務所1部屋を借りるのに年間どのぐらい払っているんですか。また、事務用品も借りてるということで、これ机とかのことを言うんですか。事務所も借りています、机も借りています、複合機もリースで借りてる。そのほかに一般で事務用品も用意してますっていうことでよろしいんですか。

山下企画政策グループ主幹

ただいまのご質問なんですけれども、問寒別の協力隊事務所のほうですね、こちら借上料として、事務所の家賃でしょうか、部屋として借りている部分の家賃と、複合機、複合複写機などを借上料ということで見込んでおりますが、こちら月、それらを合わせてですね、共益費なども合わせて11万5,500円ということで借上料のほうをお支払いしております。

そして、事務用品の使用料に関しましては、委員おっしゃるとおりの事務用品に関する

リースでして、団員さんのパソコンですとか、事務用デスクですとか、そういったものが対象になっております。

### 3番 齋賀委員

事務用デスクも借りて70万ということだったんですけども、70万も出したら事務用デスク買って来たほうが早かったような感じがしますよね。年間に毎年、去年も70万、今年も70万、いつまで70万かわかりませんが、役所にだって残ってる机あるんだから、それらを利用したほうが経費削減になるのではないかと思いますけど、いかがですか。

### 山下企画政策グループ主幹

事務用デスクに関しましては、そこまで金額発生してないんですけども、その隊員さんが2名おられるという想定で、パソコン、ノートパソコン2台買っているですとか、あるいは、いろいろな集落支援活動に活用するというので、カメラの機材であったりですとか、そういったものをリースとして見込んでおりますので、机とか、そういったものはそれほど高額なものではございません。

### 3番 齋賀委員

いや、地域おこし協力隊2名じゃなくて3名ですよ。これ3名ということを出てるから、3名でこんだけやります、使います、必要だということなので予算組んで、決算したらこういうことになったということでもいいんですよ。今の説明、2名と言ってたんですけども。

### 山下企画政策グループ主幹

集落支援の担当の協力隊員さん3名ということ、令和2年度活動していただきましたけれども、1名がですね、10月に採用するというようになっておりましたので、10月の採用分に関しては、使用料というリースの部分には含まれておりません、いろいろその国の過疎の交付金を活用しながら、パソコンなどを購入しているというところもありましたので、その10月採用の隊員さんの事務機器などに関しましては、別途備品購入等で購入しているというものでございます。

### 3番 齋賀委員

わかりました。

続けてですね、地域おこしに関係することなんですけども、89ページですね。企画費、地域おこし協力隊運営事業。この中に委託料があります。248万8,204円ですね。予算科目にはこれ委託料はなかったんですけども、ここで委託料の決算を出てきてこれだけ金額あるんですけども、これは何にどういうことを委託したのかお伺いしたいと思います。

それと2つ目に上の段、幌延町まちひとしごと創生事業ですね、これは、予算説明のときにバイオマスとワインの試験制度だよということで、バイオガスの事業推進支援業務に445万5千円ですよ。何をしたかちゅうと、基本資料作成業務だということをお伺いしました。基本資料作成業務で今、何が残ったんですか。何か資料か何か、コロナ禍の中でつくったのかどうか。何が残ったのか、お伺いします。

### 山下企画政策グループ主幹

まず、地域おこし協力隊運営事業の委託料に関してですけども、こちらのほうですね、当初といいますか、予算のほうでは125万円程度、予算のほう計上しておったかなと思うんですけども、こちらのほうは観光振興という部分で、幌延町で取り組んでいる秘境駅の取組に際して、秘境駅2つ、無人駅2駅が廃止になるということでしたので、今回その協力隊の事業の中で、廃止駅、対象駅のメモリアル企画ということで、フォトコンテス

トを行ったり、さようならのセレモニーを実施したりということをしておりましてけれども、そちらのメモリアル企画、そしてゲストを招聘した、こういった委託料でございまして、当初、報償費等で予算等は計上していた部分もありましたけれども、委託が可能になったということで、委託のほうに予算を流用しまして、委託で決算をしているというところでございます。

#### 梶企画調整係長

バイオガスの委託料について、ご質問にお答えいたします。

令和2年度につきましては、委託料ということで400万4千円ということで、小規模バイオガスプラントの普及及び先進地化に向けてということで、そういった事業を進めていたところなんですけれども、コロナの関係でいろいろ事業がうまく進められなかったり等々ありました。

また、実際にバイオガスプラントを取り巻く環境というの、予算の特別委員会等々でもお話してきていると思えますけれども、これまでは個別型で、自家消費していくような形での、モデルでのお話ということで、そちらのある程度のデータはそろってきたと思っております。

そんな中、ノーファーム型接続ということで、売電の目がまた出てきたということで、年度途中からはそちらの情報提供等々も含めて、全体の農家さんではないんですけれども、個別の事業者さんへのヒアリングですとか、地区の農家さん数件等々と座談会や懇談会等を実施したというところでございます。

#### 3番 斎賀委員

座談会、会議するのに400万もかかって何も残らなかったんですか。成果があったかどうかもお尋ねしたいと思います。

前にモデルプラン、モデルの中で3つぐらい作りましたよね、モデル農家選定した。バイオガスプラントの方がその家を一軒一軒見に歩いて情報を聞いて、3つ選定したんだと思います。その人がたにまた座談会なりなんかやって確認したんですか。

今やるべきことは前年度、経費をかけてやったモデル農家3つから1つに選ぶっていうのが、令和2年度の大きな仕事でなかったのかなと思います。何か資料とか、何か冊子とかで400万のものが残っていないんですか。

#### 梶企画調整係長

お答えいたします。業務完了時に業務成果品ということで、業務報告書をご提出いただいております。成果については以上です。

#### 3番 斎賀委員

提出いただいておりますということで、どこかに委託かけたんですよね。そこからその成果の提出、成果なり懇談会やった結果等が出てきた。それが400万だということでよろしいんですか。

それと、先ほど地域おこし協力隊運営事業、当初予算に事業費ということで予算計上して言ってたんですけども、事業費もそれは載ってないんですよね。補正で上げたからいいのかもしれませんが、当初予算にはその事業費で予算は何も載っていないじゃないですか。ことをちょっと改めて確認します。

#### 山下企画政策グループ主幹

この予算の計上時期でございますけれども、廃止されるべきに関しましては、令和3年の3月というところに向けてのセレモニーであったり、いろいろなイベントを実施すると

いうことでしたので、12月補正予算のほうですね、ちょっと計上したものでしたので、当初予算のほうでは計上されていないというところです。

角山企画政策課長

令和2年度の事業成果というお話でございましたけども、実施した内容については、先ほど、梶のほうから説明した内容を行ってます。そして取りまとめたものは、成果品として1冊の本として、業務成果で納品していただいております。

そして、また例年ですと、次の年の事業を行うタイミングで、成果のものをですね、各酪農家さんにお送りした上で、次の年、こういうことをやりますというようなスキームでやっておりますので、令和3年度の事業も契約が終わりましたので、ちょっと下半期の動きとしてですね、事業をやるに当たって、前年度成果のお知らせもですね、やっていきたいなと思っております。

また、バイオマスプラントを取り巻く環境ということで、繰り返しになりますけれども、個別しか選択出来ないような状況の中でありましたが、システムとして、ノーファーム型接続ができるということで、高圧の可能性も出てきたという部分。また、環境影響の部分ですね、制度等も出てきたりということもありまして、実際、その運営する中で、どの形のプラントでやるという部分と、どういった形でやるという部分。こちらが決まっていかなとなかなか進まないという部分がありましたので、昨年度については酪農家さん、事業者さん、JAさんというようなことで、農業関係の方にお声掛けして、座談会、意見交換、今までの調査の情報提供に併せて、そういった事情の変化についてもご説明させていただいたところがございます。また、JAさんには青年部にご協力いただいて、後継者の方、向けにも今の現状をお話ししてというようなことを、昨年度は実施しております。

今年度の話になりますと、そこを引き続いてどういった形でやっていくのかという部分で、リースという話もご意見でありましたので、そういった部分も組合せて、どんな形でできるかという部分を整理していくというような内容で考えております。

3番 齋賀委員

いろいろな形で座談会やったりなんかまとめるということなんですけど、今農協さんと農家やっていて、共有している確認されていることは何なんですか、共有していること。ここまではいいねということで何か確認してることがあるんですか。

角山企画政策課長

これまでの調査の成果、建設概算費ですとか、そのプラントによるメリット、デメリットみたいなところは、共通なテーマとしてお話しております。その上で、今の段階では、単体であったり、個人であったりと、今、そのための会社がどうっていう話までは及んでおりませんので、それぞれ単体でやる場合っていうようなイメージで、ご意見というのは頂戴しておりますけれども、ご存じのとおり、費用がかなり高額であるという部分。特にこういうご時世になってまた建設費も、単価が高騰してるっていう部分もあったり、片や売電ができるですとか、補助制度が環境負荷低減という意味で、事業の選択の仕方にもよりますけども、厚い部分があたりだとかっていうことは、新しい情報を踏まえた上でどうするっていうようなこと。

また、幌延の酪農家さんの飼養頭数からいくとなかなかっていう部分があったということは、一定程度お話ししてご理解いただけているのかなというふうに思ってます。

無量谷委員長

ほかにございませんか、質疑。

## 8番 高橋委員

81ページなのですが、地域コミュニティ形成事業の中の手数料なんですけど。220万ぐらい。説明資料の中に手数料3つに分けて払ってるんですけど、ヒアリング調査の分析とか、センター設置に向けた各種分析支援とか、交通システムの調査支援とかって、ここで220万ぐらい払ってるんですけど、事業が終わってから約半年以上たつんですけど、この分析した調査の結果っていうことは報告しないっていうか、まとまってないって報告出来ないのか。報告する気がないのか。それちょっとお伺いしたいんですけど。

### 山下企画政策グループ主幹

地域コミュニティ形成事業の手数料でございますけれども、こちら、最終的に幌延町で集落支援の目指すところであります集落支援センター、仮称でございますけれども。こちらでその集落の機能を提供するような、拠点づくりというものを進めていきたいということでしたけれども、これに向けて、問寒別地区などにおける人口の動向であったり、町が保有している財政上の支出がどれぐらいあるのかであったり、そういったところで地域の資産であったりとか、人の動き、これを棚卸するという意味合いがありまして、まずはこの手数料ということで調査を実施しました。

この調査実施したものは、報告書というものをもらっておりまして、内部的な資料として今後、この集落支援事業をどのように展開していくのか、基本構想のようなものを策定するための材料とするようなものの調査報告書をいただいております。

そのほか、地域交通システムに関しましては、地域の交通資源に関する情報収集して、今年度実施している予定の予算計上しておりますけれども、地域交通のシステム、これを開発するための要件定義などを行っておりますので、何か外に対外的に広く公表するというものよりは、内部の基礎データというものを収集したということでございます。

## 8番 高橋委員

したら、結局は内部のデータっていうか、基礎知識として持っていることは、今年これ決算なんだけど、今年に入ってからこの調査の内容を精査して、何か事業というのは進めているのか、どうかそれもちょうとお伺いします。

### 山下企画政策グループ主幹

こちらの令和2年度に実施しました調査結果を受けて、今後の方向性どうしていくのかということでの展開に役立っているということで、そのような生かし方をしております。

そして先ほども繰り返しになりますけれども、地域交通の調査に関しましては、今年度のシステムづくりのための前段の調査ということで、今年度に生きているというふうに言えると思います。

## 8番 高橋委員

93ページなんですけど、交通安全対策管理費なんですけど、ここに162万円ってあるんですけど。これ、多分予算では14人で113万円だったはずなんですけど。決算で169万2千円になってますけど、これは交通指導員の報酬なんですけど、これは交通指導員が増えているのか、それともいつだったかちょっと忘れちゃったけど、前年度の報酬を支払うのは忘れてて、後で支払ったっていうことがあったような気がするんですけど、それが入った金額が169万2千円になってるのかどうかちょっとお伺いします。

### 植村広報住民係長

ただいまの質問にお答えいたします。



高橋委員おっしゃるとおり、元年度の後半の支払いを忘れてしまいましたということで、その分を追加して支払わせていただいております。

無量谷委員長

ほかに総務費、ございませんか。

(「ありません」の声あり)

これにて2款 総務費の質疑を終わります。

お諮りします。

本日の決算審査特別委員会はこの程度にとどめ、延会したいと思います。

これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって本日は延会することに決定しました。

なお、決算審査特別委員会は、明日の本会議に続いて行います。

これにて延会します。ご苦労さまでした。

(16時40分 延 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 無量谷 隆

以上、記録する。

主 事 満保希来